

小説

伊藤正一



岩国市
(1920～1989)

伊藤正一は、文学の創作は行政と同じだとして両面で活躍した。文芸活動を展開する一方、郷土の文学振興に力を注ぎ、「創作教室」を主宰した。

昭和四十二年、岩国市助役に就任したが、行政活動の中でも力を発揮。「絵画は色で、音楽は音で人生を再現するように、文学は文字で表現する芸術である」は口癖であった。

言葉の繊細さを大切にする作家であり、俳句もよくした。
(稲生 慧)

【主な著作】

『蛇足の人生』(白藤書店、昭和44年)

『錦帯橋物語』(四季出版、平成元年)

『ほいとう』(叢文社、平成4年)